広報 游



令和5年1月1日

139

平成31年4月1日から滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例が施行されました 12月3日~9日は障害者週間です

新年のごあいさつ 2
第71回滋賀県身体障害者福祉大会
第42回日身連近畿ブロック福祉大会・
第24回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会 他 … 5
わが地域の「がんばり日記」 他
第37回障害者による書道・写真全国コンテスト、
各種お知らせ等 7
障害者福祉センターコーナー8~11
自宅でできる簡単トレーニング、クイズコーナー・編集後記 … 12

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

個人利用時間 午前9時30分~正午・午後1時~4時30分・午後5時30分~8時30分 団体貸切利用時間 午前9時30分~午後8時30分

休 所 日 月曜日(休日を除く)・「休日」の翌日(土曜日・日曜日または「休日」 である場合を除く)・12月29日〜翌年1月3日・管理者の指定日時

電話 077-564-7327 F A X 077-564-7641 E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com https://www.shiga-fukushi-center.com/

~「第42回日身連近畿ブロック福祉大会・第24回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会」の様子~ 県立文化産業交流会館イベントホールにて



新年あけましておめでとうございます 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます



新年のごあいさつ

公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 会 長 大 西 孝 雄

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、滋賀県身体障害者福祉協会の事業活動にご理解とご協力をいただいております 皆様方に新春のお慶びを申し上げます。

昨年、社会は「withコロナ」に向けて、感染拡大防止と社会経済活動の両立の方向で進み、当協会においても滋賀県身体障害者福祉大会をはじめとした事業を、皆様にお集まりいただき実施

することができました。本年は更に、地域や障害者団体の皆様と協力し、コロナ禍により停滞していた活動を再始動し活発化できるよう取り組むとともに、不特定多数の障害者の皆様の利益のため、公益財団法人としての役割を果たして参りたいと存じます。

さて、国や県においては、障害者総合支援法の改正が閣議決定されるなど、障害者の地域生活支援の拡充や共生 社会づくりに向けた様々な取り組みが進められています。

そのような中、当協会としては、当事者自らも共生社会をめざして取り組み、障害者施策や法制度がより良いものとなるよう、当事者の思いを反映できる取り組みを進めて参ります。併せて、当協会の課題である地域組織や障害者団体の会員等の高齢化や減少の対策として、組織活性化への支援に力を入れて参りたいと存じます。

また、指定管理者として管理運営している「県立障害者福祉センター」については、4期目の中間年として、着実に計画を実行するとともに、安心安全にご利用いただけるよう運営して参る所存です。

最後になりましたが、令和5年がより一層障害者理解が深まる年となり、皆様にとって幸多き一年となりますよう、ますますのご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

滋賀県知事 三日月 大 造

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から障害のある 方々が地域で共に生きるための社会づくりに御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

滋賀県政150周年を迎えた昨年、世界農業遺産「琵琶湖システム」認定やビワイチ推進基本方針の策定、県立高等専門学校の設置場所決定、次期滋賀地域交通ビジョンの検討など、未来の

滋賀へつなぐ一歩を踏み出しました。

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてから約3年を経て、これからは皆様と力を合わせて「感染を防ぎつつ、コロナと共存しながら、社会・経済活動を進める」という生活様式に移行していきます。皆様には、感染防止のために御配慮、御協力いただきながらも、徹底した感染対策のもと、対面では3年ぶりとなる近畿ブロック福祉大会の開催や、障害のある方への事業の実施に御尽力いただいたことに厚くお礼申し上げます。

さて、本県は「滋賀県障害者プラン2021」を策定し、本年で3年目を迎えます。障害者差別相談員、地域アドボケーターの配置による合理的配慮の普及や、市町との連携による包括的・重層的な相談支援体制を構築するとともに、現状の課題に合わせたプランの一部改定に向けた検討を行うなど、障害のある方が地域の中で制限を受けることなく「その人らしく」暮らしていける社会づくりに努めてまいります。

本年も、「未来へと幸せが続く滋賀」を実現するため、一人ひとりの不安や孤独、生きづらさに寄り添い、ワクワクとやすらぎを大切に、子どもも大人も笑顔が輝く「健康しが」を目指してまいりますので、皆様には引き続き、お力添え賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって、実り多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

一緒にがんばりましょう。

協会からのお知らせ・報告

第71回 滋賀県身体障害者福祉大会を開催しました

10月9日(日)、甲賀市のあいこうか市民ホールにおいて、3年ぶりに県内各地からご参加いただき、標記大会を開催することができました。コロナ禍での開催であり、基本的な感染防止対策はもとより、当日の参加者名簿の提出や、国歌や会歌、スローガンを心の中で斉唱(唱和)するなど、様々な工夫をしたうえでの開催となりました。

式典では、令和4年度の知事表彰および会長表彰の 授賞式が行われ、議事では、今大会の宣言と決議 5 項 目が承認されました。

アトラクションは「みなくち笑い隊」の皆様により「一休さん」の寸劇を演じていただき、皆様には、ひと時、笑いの時間をお過ごしいただけました。

新型コロナウイルス感染拡大により、人と人とのつながりが希薄になる中で、久しぶりに集まることができました。開催の準備から運営まで、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。

今後、当協会として、障害の有無にかかわらず相手の立場を思いやり尊重しあう「共生社会」をめざし、今大会で掲げた大会スローガンや大会決議の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後ともご協力賜りますようよろしくお願いします。



【表彰の様子】滋賀県知事表彰受賞者代表 望月 惇二氏



【大会決議案提案の様子】大会決議文朗読



【アトラクションの様子】みなくち笑い隊による寸劇「一休さん」

令和4年度 滋賀県知事表彰·被表彰者

更生援護功労者									
市町名 氏名 市町名 氏名									
長	浜	角川	和子	多	賀	大西	孝雄		
近江八幡 西村金兵衛			多	賀	山田	次子			
湖	南	望月	惇二						

自立更生者									
市田	[[名	氏 名		市田	[[氏	名		
大	津	中川孝次郎		彦	根	小林	玲子		

令和4年度 (公財)滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰·被表彰者

更生援護功労者									
市田	J名	氏	名	市	町名	氏	名		
長	浜	伊藤	利明	東 ì	丘江	奥井和	川一郎		
長	浜	福田	博行	東ì	丘江	中村	輝夫		
甲	賀	平岡	恵子	多	賀	脇坂	岩男		
甲	賀	田中	由廣						

	自立更生者										
市町名 氏名 市町名 氏名							名				
彦	根	折戸友規子		豊	郷	北川	誠				
守	Щ	岩井	勝								

第71回 滋賀県身体障害者福祉大会 大会スローガン

- 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例がより一層啓発され、心のバリアフリーが広く根づくよう取り組もう
- 障害者にとって安心、安全な移動手段の確保とまちづくりが整備されるよう働きかけよう
- だれもが取り残されることのない、実効性のある避難支援体制が早急に整備されるよう働きかけよう
- 障害者が自立できる労働環境が、整備されるよう働きかけよう

第71回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

一昨年より続くコロナ禍により、人と人とのつながる機会が減少し、私たち障害者にとっては、今も不安で不便な日々が続いている。

そのような中、昨年、改正障害者差別解消法により、法の成立後3年以内に民間事業者にも合理的配慮の 提供が義務化されることとなった。また、県では、滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例の啓発と障 害者理解に向けて、様々な取り組みが実施されている。

しかし、障害者が安心安全に暮らすための課題は多く、さらに、コロナ禍という今までに経験したことのない状況を踏まえた、より一層の施策の充実と障害者への理解を深める対策が必要となっている。

このような時に、第71回滋賀県身体障害者福祉大会を、県内各地から、多くの障害者が集まり開催できることは、大変意義深く、この大会を私たちの思いと願いを結集しアピールする契機として、私たち自らも、滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例の周知啓発に取り組み、相互に理解し合える共生社会が実現できるよう努めるとともに、共に活動し、法制度や施策の充実を提言していく必要がある。

本大会に参加した私たちは、これからも障害者の自立と社会参加をより一層推進するため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

令和4年10月9日

公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 第 71 回 滋賀県身体障害者福祉大会

第71回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

- 1. 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例で、民間事業者や個人に義務化されている合理的配慮の提供がより一層啓発されるよう要望する。また、だれもが合理的配慮を提供できるよう、「心のバリアフリー教育」の推進と、差別事例が発生した際の相談支援体制の強化に取り組まれるよう要望する。
- 2. 改正災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者への実効性のある避難支援ができるよう、日頃からの体制整備と福祉避難所の適切な運営を要望する。また、一次避難所に関する情報共有とバリアフリー化を要望する。
- 3. だれもが安心して安全に暮らせるまちづくりのため、特に、道路整備や公共交通機関の確保について、 関連する法令や制度等と整合を図り、様々な障害に対応した整備を要望する。また、県内の車イス等の 障害者が乗降しやすい路線バスや貸切バスの導入 支援を要望する。

- 4. 新型コロナウイルス感染症拡大による社会活動の 停滞により、多くの障害者団体では組織の存続すら 危ぶまれていることから、障害者団体が安全に活動 をするため、感染防止対策等の支援と正しい情報提 供を要望する。
- 5. 障害者の雇用促進については、法定雇用率の達成とより一層の達成企業の増加促進に取り組まれるとともに、障害者が自立するため、継続して働ける労働環境が整備されるよう要望する。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、障害者雇用の促進が妨げられないよう要望する。

以上決議する。

令和4年10月9日

公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会 第71回 滋賀県身体障害者福祉大会

第42回日身連近畿ブロック福祉大会および 第24回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会の開催



令和4年度の近畿ブロック福祉大会と身体障害者相談員研修会の開催については、滋賀県が当番県として開催することとなりました。コロナ禍ではありましたが、11月10日(木)、米原市の滋賀県立文化産業交流会館において、近畿各府県政令指定都市の各団体の代表者等にお集まりいただき、参加型で開催することができました。開催にあたりご支援、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

福祉大会は、午前中に式典と議事を行い、大会宣言と大会決議が承認されました。13 項目におよぶ大会 決議は、日本身体障害者団体連合会を通じて、国の関係機関に要望されることとなります。午後からは、

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室 相談支援専門官 藤川雄一氏をお迎えし「今後の障害者施策の動向について」と題し身体障害者相談員研修会を開催し、最新の障害者施策の内容について、ご講演いただきました。ぜひ今後の相談活動に活かしていただきたいと思います。

コロナ禍であり、皆様には、滋賀県を満喫していただけず残念でしたが、3年ぶりにお会いできたこと大変うれしく思っています。これからも、近畿各府県及び政令指定都市の皆様と力を合わせ、身体障害者福祉の向上をめざして取り組んでまいりましょう。



青壮年部への加入者を募集中です!!

当協会青壮年部では、県内の身体障害者や青壮年部活動に関心のある方とともに、障害者スポーツやレクリエーション体験、障害者団体等との意見交換など、仲間の輪を広げる交流活動を中心に事業を実施しています。

今後も、県内各地で各種交流事業を実施していくため、と もに活動する仲間を募集していますので、是非、皆様のご加 入をお待ちしています。これまでの活動内容や加入方法等に ついては、当協会事務局までお問い合わせください。

令和4年度実施事業:

- ①こなん交流いきいき風船バレーボール大会参加
- ②滋賀県立琵琶湖博物館の視察体験
- ③青壮年部地域交流会の開催 (栗東市)





わが地域の「がんばり日記」

『歩行訓練を兼ねた日帰り旅行』

彦根市身体障害者更生会

10月23日(日)、3年ぶりとなるバス旅行を実施し、「滋賀県立琵琶湖博物館」へ行きました。コロナ禍ではありますが、会員皆さんの要望でバス2台での計画を立て参加者を募集したところ、コロナ感染を心配されたのか、参加者は26名でした。リフト付きバス1台に乗り、会員交流と歩行訓練を目的に博物館へ。密を避け座席を一人掛けにした為、静かな車内となりました。

琵琶湖博物館には、びわ湖の生き物、世界の淡水魚、滋賀県の風土や歴史などの展示があり、参加者は若かりし頃の生活を思い出し、懐かしく思われたことと思います。改めて滋賀県の宝となる琵琶湖を大切にしようと思われたのではないでしょうか。その後、石山寺前で昼食をとり、帰りには「めんたいパーク」でおみやげを買い帰路につきました。

今回は、少人数でのバス旅行となりましたが、一日 も早くコロナ感染が落ち着き、会員皆様との交流が 出来ることを願うばかりです。



『親睦交流研修会を開催しました!』

栗東市身体障害者更生会

11月27日(日)天候にも恵まれ、栗東市身障更生会の親睦交流研修会を開催いたしました。

コロナ禍によるここ数年、更生会の事業もほぼ何 もできずの状況下でしたが、思い切って感染症対策 をしっかり取りながら実施しました。

当日は23名の参加で、近江鉄道さんのリフト付き 観光バスを利用させていただき、三重県湯の山温泉 で車イスごと利用できる御在所ロープウエイに乗車 し綾錦の紅葉を満喫し、ホテルでの昼食会と懇談、そ の後お千代保稲荷を訪れ参拝と観光をする充実した 一日となりました。

参加した会員さんからは、「久しぶりの交流会とお互いを助け合い、労わり合いながら親睦が図れて楽しかった。」と言っていただき、実施に踏み切って良かったと思っています。

今後も会員相互の親睦と交流がなお一層図れる事業を、皆さんとともに展開できればと願っています。



各地域・団体の活動報告

令和4年10月~12月

月日	主 催	会議・行事内容
10月23日(日)	彦根市身体障害者更生会	会員親睦旅行
11月27日(日)	栗東市身体障害者更生会	親睦交流研修会





第37回障害者による書道・写真全国コンテスト



作品を募集していました標記コンテストの審査結果が発表されました。今年は、全国から1,079点(書道部門848点、写真部門168点、携帯フォトの部63点)の応募がありました。このうち滋賀県からは書道部門77点、写真部門6点の応募があり、写真部門で金賞に入賞された苗村恵津子さん他9名が入賞されました。誠におめでとうございます。来年度も開催を予定されておりますので、是非、皆様からのご応募お待ちしております。

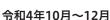
入 賞	氏 名	作品名
八貝	10 10	IFM141
写真·金賞	苗村恵津子	空とぶスイカ
写真·銀賞	清水 二郎	I Love Bass♡
写真·銀賞	田中 宏明	夕景~夏の想い
書道·銀賞	池田 郁子	雨
書道·銀賞	伊藤 千鶴	豆
書道·銅賞	葛城 惠	狩人
書道·銅賞	川上 勉	蛍
書道・銅賞	町田 知子	障害に耐え忍ぶ。 明るく前を向いて。
書道・銅賞	小嶋紗友莉	秋
書道·銅賞	小林 佐綺	思無邪

■定休日 毎週水曜日・一部火曜日

法人営業部 ■営業時間 10:00~18:00







月 日	会議・行事内容
10月 9日(日)	第71回滋賀県身体障害者福祉大会
10月22日(土)	第5回三役会
10月28日(金)	第4回理事会
	日身連近畿ブロック福祉大会・ 近畿ブロック身体障害者相談員研修会 第3回実行委員会
11月10日(木)	第42回日身連近畿ブロック福祉大会
	第24回日身連近畿ブロック身体障害者 相談員研修会
12月 2日(金)~ 12月 7日(水)	障害者週間啓発・推進事業 【啓発イベント】
12月 7日(水)	滋賀県障害者理解を深めるための研修会
12月14日(水)	「障害者施策に関する要望活動」 (県知事・関係部局)
12月22日(木)	第6回三役会

申込み・問い合わせ先

(公財)滋賀県身体障害者福祉協会

〒525-0072 草津市笠山八丁目5-130

▼協会HP

TEL 077-565-4832

FAX 077-564-7641

mail info@kenshinkyo-shiga.com

HP https://www.kenshinkyo-shiga.com





すべては、お客さまのために。

私たちは、金融商品の豊富なラインアップ、充実した投資情報、 そして、ご信頼いただけるきめ細かなサービスを提供することで、 より一層お客さまのお役に立てるよう努めております。

大津支店 〒520-0046 大津市長等 3-1-27 Tel. **077-526-3131**(代)

9

障害者福祉センターコーナー



事業案内

オープンプール

お知らせ」

4回目になる今回は、初心者の方にクロールの指導を行います。指導員と一緒に基本から楽しく練習しましょう!

日 時:1月9日(月・祝)10:00~12:00

(受付は9:45~11:30)

場 所:当福祉センター プール

対象者:障害のある人(介助者は1名のみ入場いただけます)

定員:開催日のプールの制限人数によります。

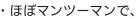
※プール内が制限人数に達した場合、お待ちいただく

ことがあるのでご了承をお願いします。

参 加 費:無料



・自分の泳ぎ方の良くな い点を指導してくださ りわかりやすかった。



時間があっという間でした。

オープンアリーナ



家族や友人、指導員と一緒に、スポーツ・レクリエーションをとおして楽しい時間を過ごしませんか?

日 時: 2月23日(木・祝) 13:00 ~ 16:00 内 容: A面 レクリエーション・体の使い方

B面 卓球・ボッチャ体験

場 所: 当福祉センター アリーナ

対 象 者:障害のある人とその家族(介助者含む)

参 加 費:無料 持 ち 物:上靴



・たくさんコツを教えて もらったから上手に なって楽しかった。

・初めてのスポーツが体 験できてよかった。



障害に関する学習会

お知らせ

改めて「障害」について考えてみませんか?みなさん のお申込みをお待ちしています。

日 時:3月18日(土)14:30~16:30

場 所: 当福祉センター 会議室

内 容:肢体不自由について

~障害者スポーツを通して~

講師:びわこリハビリテーション専門職大学

准教授 安田 孝志 氏

対 象 者 : ①県内在住・在勤のスポーツ指導員/

推進委員

当福祉センター登録ボランティア

②学習会の内容に関心のある方

※申込者が定員を超える場合は、優先順位を①→②の順

とし、抽選により参加者を決定します

定 員:40人 参加費:無料

申込期間:2月1日(水)~2月26日(日) ※郵送の場合は2月24日(金)必着

■ 手作り体験教室(デコパージュ) (ჾႸႶらせ)



絵や紙を切り貼りしてオシャレに物をデザインします。お 気に入りの紙で世界にひとつのアイテムを作ろう!

日 時:3月5日(日) 10:00~12:00

場 所: 当福祉センター 会議室

対 象 者:障害のある人 定 員:10人(先着順)

受講料:無料。ただし、教材費1,500円が必要。

申込期間:2月4日(土)~2月25日(土)



令和5年度 登録ボランティア募集



当福祉センターの事業 や教室へのご協力をお願いする、令和5年度の登録ボランティア80名を募集します。



登録条件:原則として、以下の条件を満たした人とします。

①18歳以上で自身に介助を要しない人 (通訳等については各自で依頼してください)

②健康で他者の介助ができる人

受付期間:3月16日(木)~9月30日(土)

登録方法:「登録ボランティア申込書」に必要事項を記入の上、

直接又はFAX・郵送して下さい。

令和5年度 年間日程調整会議



大規模な大会や行事等を対象に、施設利用の調整を行います。実施計画されている障害者団体・施設の方はご参加ください。詳細は、当福祉センターにお問い合わせください。

日 時:2月19日(日) 上半期(4月~9月分) 10:00~

下半期(10月~令和6年3月分) 13:00~

場 所: 当福祉センター アリーナ

※新型コロナウイルス感染症対策のため、施設利用時の制限事項を設けています。

予めHP等でご確認いただくか、直接お問い合わせをお願いします。



事業報告



障害者週間啓発イベント(清掃)



今年で12年目を迎えた当事業は、12月3日(土)~12月9日(金)の障害者週間の啓発イベントとして、福祉ゾーン一帯の歩道の清掃を近隣施設利用者・職員・当福祉センターの登録ボランティアの皆さんの協力を得て行っています。

今年は、11月17日(木)に開催し、94人の方にご協力いただき、歩道一面に広がったイチョウの落ち葉を清掃しました。1時間程度の活動で、落ち葉のない綺麗な歩道へと様変わりしました。参加者は、落ち葉を集め回収する作業を他の施設利用者とも協力しながら、一生懸命清掃をされました。また、参加者には「清掃中」と書かれたビブスを着用していただき、道を通る方々へ清掃活動をアピールすることができました。





参加者の恵

- ・落ち葉で埋もれていた歩道が、皆で協力して清掃したことで綺麗になり、歩きやすくなった。
- ・力を合わせてやったことで、絆が深まった 感じがした。

第39回水泳記録会



11月27日(日)に、第39回水泳記録会を開催し126人が参加されました。第1部の25m挑戦には、25m完泳や自己記録の更新等、それぞれの目標を持って挑戦をされました。緊張しながらも、家族・介助者が見守る中、一生懸命泳ぐ姿に、何度も大きな拍手が送られました。その後、水中レクリエーションとして、玉入れと滑り台や浮島を渡るサーキットを行い、参加者は普段のプール利用ではできないことを楽しまれました。

第2部では、全国障害者スポーツ大会等の大会出場者を始め出場経験のない人が25m・50mの4泳法に挑戦し、日々の練習の成果を試す場として参加されました。普段とは違う緊張感の中、練習の成果を存分に発揮された方が多くみられ、参加者は充実した表情を浮かべていました。

参加者の声

- ・去年より大幅タイム更新!本人も大満足の 日になりました!
- ・1年1年出来ることが目に見えて分かるので達成感がある。
- ・達成度 100% とにかく全力で頑張った。





【第1部の様子】





【第2部の様子】

シーズンディスプレイ

利用者の皆さんとともに当福祉センターを彩るシー ズンディスプレイ。

10月1日(土)~11月6日(日)はハロウィン。11月29 日(火)~12月28日(水)はクリスマスをテーマにディス プレイしました。

ハロウィンでは、利用者の皆さんに描いていただい た200を超えるオリジナルお化けが、色鮮やかに多目 的ホールを彩り、楽しいハロウィンの雰囲気を感じて いただけました。

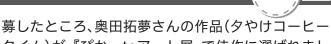
クリスマスでは、利用者の皆さんに描いていただい た様々な形の飾りがツリーを華やかにし、多くの方の目 を惹きました。また、夕方からのイルミネーションによ り幻想的な空間を演出することができました。 次回は、2月~3月にかけて「ひなまつり」をディスプ

レイする予定をしています。どうぞお楽しみに。



クリスマス

絵画教室スマイル



11月20日(日)に令和4年度絵画教室スマイルの最 終回を終えました。

受講者は、毎回講師から画集などを題材に、作品作 りに取り入れることのできる道具の使い方、色付けの 方法等のアドバイスを受け、個々の好きなものや好き な事をテーマとして作品作りに取り組まれました。

教室でできた作品を、昨年度に続き、『ぴかっto アート展』と『キラキラっとアートコンクール』に応 タイム)が、『ぴかっtoアート展』で佳作に選ばれまし

た。奥田さんは表彰 式に出席され、緊張 感の中にも達成感と 喜びを感じておられ、 また他の方には励み となる結果となりま した。



第 22 回 全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」

10月29日(土)から10月31日(月)まで全国障害者ス ポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が栃木県で開催 され、滋賀県からは100名の選手団が参加し、当福祉セ ンター指導員も1名コーチとして帯同しました。各競 技にて日頃の成果を存分に発揮されていました。当福 祉センターの教室受講者・利用者も参加され、メダル の獲得や、自己ベストを更新する等活躍されました。

2025年には「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」大会 が滋賀県で開催されます。日頃から取り組まれてい る競技やこれからチャレンジしてみようと思う競技 で出場を目指してみませんか。当福祉センターも応 援します。

運営協議会を開催しました



去る9月27日(火)にセンター運営協議会を開催し ました。多くの運営委員の皆様からご意見を伺う貴 重な機会となりました。

内容は、第4期指定管理の施設管理運営状況等に ついて報告し、委員の皆様から、コロナ禍における当 福祉センターの取り組みに対し、お褒めの言葉や今 後の取り組みへの期待の言葉をいただきました。い ただいたご意見等を踏まえ、今後もサービスの質の 向上と業務の効率的な運営に取り組んでまいります。

トイレの照明を改修しました



正面玄関横にある男女トイ レの照明を改修し、人感セン サーにより自動で点灯・消灯す るようになりました。また、各 トイレにダウンライトを設置 したことで、個室が大変明るく なりました。皆さんには快適に ご利用ください。



「お客様アンケート調査」の結果について

アンケート実施期間: 令和4年7月26日(火) ~9月19日(月·祝) ※10月5日(水) ~10月16日(日)は一般利用者のみ実施

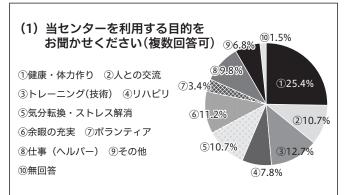
当福祉センターが行っているスポーツ・文化等の事業や受付窓口の対応などのサービスについて、利用者の皆様から評価やご意見をいただき、より良い施設運営とサービスの向上に努めることを目的として「お客様アンケート調査」を実施しました。アンケートの結果を取りまとめましたので報告します。

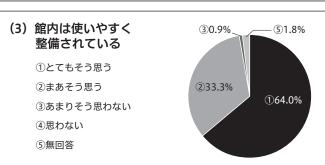
回答件数111件

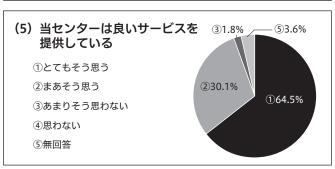
1.回答者の属性(345)は複数回答可)

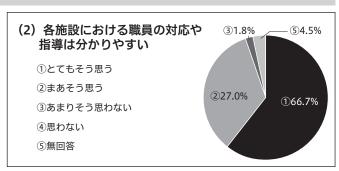
①性別	男性	43人	女性	67人	答えたくない	1人	無回答	0人				
②年齢	20歳未満	5人	20歳代	10人	30歳代	23人	40歳代	19人	50歳代	12人	60歳代	21人
	70歳代	20人	80歳以上	1人	無回答	0人						
3障害	視覚	7人	聴覚	2人	肢体	24人	内部	3人	知的	17人	精神	4人
区分	情緒	1人	介助者	38人	一般	14人	その他	5人	無回答	1人		
④使用す	アリーナ	40人	小アリーナ	26人	プール	55人	トレ室	13人	会議室	7人	和室	1人
る施設	射場	3人	その他	8人	無回答	2人						
⑤時間帯	午前	51人	午後	56人	夜間	26人	無回答	3人				
⑥頻度	ほぼ毎日	0人	週1~2	39人	月1~2	39人	その他	30人	無回答	3人		

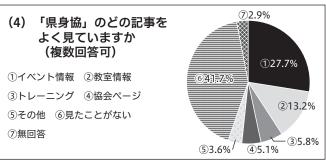
2.調査結果(一部を紹介)











3.その他 評価・ご意見等について

【評価】

・障害があっても運動できる場があるのがありがたいです。それ だけではなくイベントもしてくださったり、職員の方もよくわ かってくださり安心です。

【ご意見】

<u>・シャワーを使いたい。</u>

回答: 更衣室内のシャワー利用制限については、シャワーの順番 待ちに伴う更衣室内の密や滞在期間の短縮につなげる措置 としておこなっています。ご不便をおかけしますがご理解 とご協力をお願いします。 また、プールをご利用の方はプールサイドのシャワーをご

また、ノールをこ利用の方はノールサイドのジャリーをこ 利用ください。

・トイレの照明が暗い

回答: ご不便をおかけしました。トイレ全体にセンサー付きライトと個室へはスポットライトを設置しました。皆様には快適にご利用ください。

4.今後の対応について

アンケート調査の結果については、ほとんどの設問項目で高い評価をいただきました。今後もより多くの方々にご満足いただけるよう、 各設問項目の理由に記載されたご意見等を踏まえて検討し、サービス改善ならびに向上に一層取り組んでまいります。

なお、施設の環境改善については、県との協議等により、直ちに対応が困難なものもあります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

自宅でできる

簡単トレーニング

上腰痛

予防運動②

前回に続き、腰痛予防の運動です。今回は、寝て行う腰痛予防の体操をご紹介します! 腰の筋肉は、お尻や太ももの裏側までつながっており、その筋肉が固くなると腰痛につながりやすいと言われています。今回の体操は、お尻や太もも裏のトレーニング・ストレッチを行いますので、ぜひ実践していただき腰痛を予防しましょう!

※実践の前に

- ① 回数は10回(10秒)を目安に2~3セットおこないましょう。
- ② 呼吸は止めずに無理のない範囲で実践しましょう。

お尻上げ



※腰を反らないように注意します。

仰向けになり、足を90度に曲げ、ゆっくりお尻を持ち上げ、下ろします。 お尻に力が入っていることを意識します。 横向きに寝てひざを開く

いように注意します。



※かかどか離れないように注 します。

横向きに寝て、足を軽く曲げ、ゆっくりとひざを上げ下げします。 お尻の上の筋肉が固くなっていることを意識します。 左右同じ動きを行います。

ひざ抱え



仰向けになり、太ももがお腹につくようにひざを抱えます。 その姿勢で10秒保持します。左右同じ動きを行います。 ※股関節、ひざ関節に痛みがある方は、無理のない範囲で行いましょう。 長座位体前屈



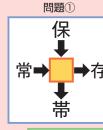
※ひざが浮かないように注意します。

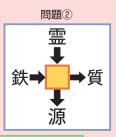
息を吐きながらゆっくりつま先の方向に手を伸ばします。 前を向かずに頭を入れると行いやすいです。 この動きを2~3回行います。

応募締め切りは2月末日まで

に入る漢字を下の の中から選んで四つの二字熟語を完成させてください。問題①と②の答えを繋げて、二字熟語を完成させましょう。正解者の中から3名の方に記念品をお送りします。

例問(答え:日) タ ↓ 祝➡日➡直





新·日·食·手

記

泉·留·温·風·熱·湿·有

《応募方法》はがき、FAX、メールで下記へ送ってください。 【記載事項】氏名、住所、電話番号、クイズの答え、広報の感想 【送 付 先】〒525-0072 草津市笠山八丁目5番130号 (公財)滋賀県身体障害者福祉協会「県身協クイズの係」まで FAX:077-564-7641 E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com

前回のクイズの答え:時雨

当選者(応募総数19通): 教野弘子様(長浜市)、藤井昭広様(甲賀市)、東城隆子様(野洲市)

読者からの声!

●コロナ禍でも工夫して様々な取り組みをされている ことがわかりました。12月の障害者週間に向け、害 者福祉への理解が広がることを願います。

(大津市·男性)

- ●突然障害者となり、初めて本誌を手に取りました。 改めていろんな世界を発見したようで元気をもら えます。(甲賀市・男性)
- ●『自宅でできる簡単トレーニング』を実践し続けていきたいと思います。(彦根市・女性)

编集後記

滋賀県身協第139号をお読みいただきありがとうございます。10月~12月にかけて、当協会では県福祉大会や近畿ブロック福祉大会等の大きな行事を続けて開催しました。また、当福祉センターでは水泳記録会や健康と体に関する学習会等の行事を開催しました。

引き続き状況を見極め、適切な感染症対策を取りつつ行事等を開催してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。 (編集子)

編集発行 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長 大西 孝雄 滋賀県立障害者福祉センター 所長 奥田 康博

〒525-0072 草津市笠山八丁目5番130号 E-mail:info@kenshinkyo-shiga.com 電話:077-565-4832 FAX:077-564-7641 https://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷:社会福祉法人 いしづみ会 指定障害者サービス事業所 いしづみ